

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

県民の皆さんとめざす姿

東紀州地域は多様で豊かな自然や歴史風土の中で、豊かでゆとりある暮らしが実現できる地域です。地域の人びとだけでなく都市部の人びとにとっても魅力的な地域をめざし、地域のさまざまな主体が連携し、地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済が活性化され、地域社会が健全に維持されています。

平成 31 年度末での到達目標

これまでの熊野古道を核とする地域の資源や魅力を生かした観光振興、産業振興、まちづくりの取組を一層進めることにより、個性豊かな地域づくりが行われ、地域の人びとが誇りを持った魅力的な地域となることで、集客交流人口が増加するとともに、地域製品の販路拡大など産業振興が図られています。

| 県民指標 | | | | | | |
|-------------------------|--|------------|------------|------------|------------|------------|
| 目標項目 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 | | 31 年度 |
| | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 |
| 東紀州地域における観光消費額の伸び率 | / | 105 | 106 | 106 | | 107 |
| | 105 | 102 | 106 | | | / |
| 目標項目の説明と平成 31 年度目標値の考え方 | | | | | | |
| 目標項目の説明 | 観光旅行者が東紀州地域において支出した観光消費額の平成 26 (2014) 年を 100 とした場合の伸び率 (雇用経済部観光局観光政策課調べ) | | | | | |
| 31 年度目標値の考え方 | 「三重県観光振興基本計画 (平成 28 年度～31 年度)」をふまえ、東紀州地域における観光消費額もおおむね同様の伸び率を確保することをめざして、平成 26 年から 7% 増加させ、107 を目標として設定しました。 | | | | | |

| 活動指標 | | | | | | | |
|-------------------------------------|-----------------|--------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 基本事業 | 目標項目 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 | | 31 年度 |
| | | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 |
| 25201 地域の自立に向けた環境整備 (地域連携部南部地域活性化局) | 地域づくりに取り組む語り部人数 | / | 88 人 | 92 人 | 96 人 | | 100 人 |
| | | 85 人 | 88 人 | 92 人 | | | / |
| 25202 地域資源を生かした集客交流 (地域連携部南部地域活性化局) | 熊野古道の来訪者数 | / | 435 千人 | 438 千人 | 441 千人 | | 450 千人 |
| | | 352 千人 | 328 千人 | 337 千人 | | | / |
| 25203 地域資源を生かした産業振興 (地域連携部南部地域活性化局) | 商談会等における成約件数 | / | 22 件 | 24 件 | 26 件 | | 28 件 |
| | | 21 件 | 23 件 | 25 件 | | | / |

現状と課題

- ①東紀州地域は、地理的条件もあり地域経済が低迷しており、就労の場が少ないことから、若年層が流出し、過疎・高齢化が進行するなど地域の活力が低下しています。このため、東紀州地域の5市町と一体となって、地域振興の取組を総合的に進める必要があります。
- ②熊野古道の世界遺産登録を機に、熊野古道センターや紀南中核的交流施設を整備し、集客交流機能の向上に取り組んだことにより、交流人口の増加、地域の賑わいにつながってきています。今後も、こうした施設が地域において持続的にその役割を果たしていく必要があります。なお、熊野古道センターは平成31年度末には第3期指定管理期間が満了するため、次期指定管理者の選定を進める必要があります。
- ③伊勢志摩サミットを契機として、東紀州地域にもインバウンドが徐々に増えつつあります。東京オリンピック・パラリンピックなどのビッグイベントの開催により、さらに増加が見込まれており、広域的な受入体制を整備していく必要があります。
- ④平成31年は熊野古道世界遺産登録15周年です。地域の市町や関係団体、関係部局等と連携し、熊野古道の価値を再確認するとともに、地域の伝統、文化を次世代へ継承していく必要があります。
- ⑤東紀州地域の5市町が中心となって地域の関係団体と連携し、新たな産業振興の取組が始まっています。こうした取組が地域の活性化につながるよう、引き続き支援していく必要があります。

平成31年度の取組方向

- ①地域の自立的な発展を進めるため、地域振興の取組を総合的に推進する役割を担う東紀州地域振興公社を最大限活用し、地域と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進します。
- ②熊野古道センターでは、世界遺産熊野古道の価値や周辺地域の魅力の発信、企画展や交流イベントの開催等に取り組むとともに、次期指定管理者を選定していきます。紀南中核的交流施設では、地域との連携を強化しながら集客交流の拡大を促進していきます。
- ③東京オリンピック・パラリンピックなどビッグイベントを国内外への情報発信のチャンスととらえ、和歌山県、奈良県や中部各県等と連携しインバウンドに取り組んでいきます。
- ④15周年を契機として、熊野古道や周辺地域の豊かな自然、歴史、文化等を再確認し、その価値を子ども・若者など次世代に伝えることにより、地域への誇りと愛着心を育み、伝統や文化の担い手となる「ひと」づくりにつなげます。
- ⑤5市町と地域の関係団体が連携して行う地域製品の開発や販路開拓など、地域の活性化につながる新たな取組を支援します。

主な事業

- ①東紀州地域振興推進事業【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】
予算額：(30) 4, 0 2 9千円 → (31) 3, 6 5 5千円
事業概要：東紀州地域振興公社において、地域と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進し、地域の活性化につなげます。

東紀州地域集客交流推進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 353,703千円 (31) 69,570千円

事業概要：熊野古道センターにおいて熊野古道を核とする企画展や地域と連携した交流イベントの開催等を行うとともに、指定管理者選定委員会を開催し次期指定管理者を選定します。また、紀南中核的交流施設については地域との連携を強化し、集客交流の拡大を促進します。

(一部新)世界と結ぶ東紀州インバウンド事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 1,342千円 (31) 9,380千円

事業概要：世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を有する三重県・奈良県・和歌山県が連携して大都市圏でのシンポジウムや三県を巡るスタンプラリーなどの誘客促進に取り組むとともに、インバウンドを県内外から東紀州地域へ周遊させる取組を行います。また、愛知県、岐阜県等と連携し、東京オリンピック・パラリンピックなどを見据えて、海外の富裕層をターゲットとした情報発信・誘客促進に取り組めます。

熊野古道活用促進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 18,435千円 (31) 13,182千円

事業概要：熊野古道セミナーの開催など東紀州地域の魅力を発信するとともに、伊勢路ナビやスマホ向けスタンプラリーなど伊勢から熊野までの観光スポットを紹介しつなぎます。また、インバウンド向けの情報発信や受入体制を整備し、国内外から熊野古道をはじめ東紀州地域への誘客を促進します。

世界に拓く東紀州観光地域づくり支援事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) 5,855千円 (31) 4,969千円

事業概要：東紀州地域の市町等が連携して行うインバウンドを軸とした観光地域づくりの取組を促進するため、外国人アドバイザーによる新たな魅力の発掘、観光案内所等の外国語対応の充実等を図るとともに、こうした観光地域づくりを担う観光専門人材の育成等を支援します。

(新)熊野古道世界遺産登録15周年事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) - 千円 (31) 10,000千円

事業概要：15周年記念イベントを開催するとともに、自然体験、歴史文化体験など東紀州地域内外の人が参加できる「熊野古道ウィーク」の設定により、市町や関係団体が様々な事業を集中的に展開し国内外からの誘客を促進します。また、期間中に子どもたちによる熊野古道各峠のリレーウォークを実施し、古道をはじめとする東紀州地域のファンとなってもらうことを目指します。

(新)地域の誇り次世代継承プロジェクト事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(30) - 千円 (31) 5,000千円

事業概要：熊野古道や周辺地域の豊かな自然、歴史、文化等の価値を次世代に継承するため、東紀州地域の小・中学生が地域に古くから伝わる技術や伝統を体験したり、地元高校生が地域の魅力を発掘し外国人等を対象にツアーを企画する取組を行います。

選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業

【基本事業名：25203 地域資源を生かした産業振興】

予算額：(30) 9, 1 2 3 千円 (31) 7, 2 9 8 千円

事業概要：東紀州地域の市町や関係団体が連携して行う地域産品の高付加価値化や販路拡大等、選ばれる東紀州地域を目指す取組を支援します。また、観光サービスのブラッシュアップ等、来訪者の満足度の向上を図る取組を支援します。